

2019/07/10(水)14:08

科目番号	授業科目	英語科目名	単位
15169	教職実践演習（教諭）C		2.0
開講期	曜日・時限	授業形態	担当教員
2019年度 後期	実習		安井 友康
科目ナンバリング			
科目区分	<p>実践教育科目</p> <p>「教職の意義に関するもの」「教育の基礎理論に関するもの」「教育課程及び指導法（教科の指導法を除く）」「生徒指導、教育相談及び進路指導に関するもの」など、学校教育に関わる基礎的な知識や理論を習得するとともに、多様な教育課題を捉え、適切に対応できる力の素地を培うことを目的とする。</p>		
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・4年間の学びを通して、大学卒業前の教師としての資質と力量形成の現状を、各種のデータを資料として客観的にとらえ、個人の課題を明確にする。 ・課題を克服するために主に授業と生活指導の二つの側面の取り組みを計画・実施・振り返りのプロセスを通して行う。 ・一連の取り組みをレポートに総括し、発表する。 		
対応するディプロマ・ポリシー	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教員としての豊かな人間性、幅広い教養、知性、コミュニケーション能力を身につけている。 2. 教職における使命感、責任を身につけ、教育的愛情をもって子どもを理解しようとする。 3. 教育に関する専門的知識及び技能を身につけている。 4. 現代の学校教育現場の多様な課題を理解し、適切な対応を考えることができる。 5. 学校と地域社会との関わりを理解し、社会性や対人関係能力を養い、地域の中で活動する態度を身につけている。 6. 教育に関する理論及び方法を活かし、教育実践を展開する基礎を身につけている 		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教師としての職責や、教職の特殊性を理解するとともに、自ら向上を重ねることができる。 2. 他の教職員や保護者、地域の関係者等と連携・協力して教育活動を行うことができる。 3. 生活指導に関わる基礎的な知識・技能を身につけるとともに、子ども理解や指導の場で活用することができる。 4. 学習指導に関わる基礎的な知識・技能を身につけ、実際の場面で用いることができる。 		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス(教職実践演習の趣旨・スケジュールと作業内容、電子ポートフォリオめ履歴確認の方法等の説明) 2. アカデミック・アドバイザの指導のもと、学びの履歴の整理(電子ポートフォリオの学びの履歴を用い、4つの観点について傾向の分析等を行う)課題克服のための取り組みを計画 3. 4つの観点の課題の克服のための取り組みの計画を発表し、助言を得る2-3 4-12・各学生の課題に即して、学生は5グループに分かれて、事例研究や調査研究等を通して、以下の事項について理解を深める。 <ul style="list-style-type: none"> ①教科・保育内容等の指導力に関する事項～ <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の学習等に関する個別指導の計画・実践・評価について、ケース検討を行う ②幼児児童生徒理解や学校経営等に関する事項～ <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育にかかわる児童生徒の実態や教育環境等について、調査研究を基に討議する。検討を行う。 ③社会性や対人関係能力に関する事項～ <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒に対する小集団指導を通して、TT支援のあり方等について討議する。 ④使命感や責任感、教育的愛情に関する事項～ <ul style="list-style-type: none"> ・教育相談における保護者面談等を通して1保護者の思いを理解するとともに、教師としての使命感や責任感を高める。 <p>※適宜、中間報告や記録の整理を行う。</p> 13. 活動を受けたレポート案の作成・指導 		

	<p>(4つの各観点の課題克服についての省察を含めること)</p> <p>14-15 整理を踏まえた実践レポートの発表・討議等 電子ポートフォリオへの学生の自己評価と省察結果の入力とアカデミック・アドバイザーの評価コメント入力</p>
成績評価	<p>・4年間の蓄積の分析、授業・生活指導の取り組みのレポート、総括レポートにより評価する。</p> <p>・欠席等により到達目標に達しない場合は、課題提出等で対応する。</p>
教職チェックリスト	<p>学習指導力</p> <p>専門科目の学習指導に関わる指導方法や評価について、その意義、形態、具体的方法などを理解、習得する。・絶対評価、相対評価、個人内評価など</p> <p>授業を行う学級が、学習集団及び生活集団としてどのような実態や特質を持っているかを把握する。・保育を行うくみが、生活集団としてどのような実態や特質を持っているか把握する。</p> <p>教材・教具、ワークシート等について検討し、工夫したり、新たに作成・開発するとともに、保育・授業の中での位置づけ、提示の仕方など効果的な活用法について考える。</p> <p>一つの教材や単元の授業を構想して保育指導案・学習指導案を作成し、模擬授業を行ってみる。</p> <p>いろいろな指導技術を適切、効果的に活用する。・板書、ノートの取り方、机間指導、教材・教具や情報機器の活用、課題の提示、指名・指示、発問―応答、「間」の活用など・幼児への活動の促し</p> <p>子ども（幼児・児童・生徒）の理解</p> <p>自己と他者がともに成長しあえるような対人関係能力やコミュニケーション能力の重要性について理解する。</p> <p>教師として豊かな人間性を磨きつづけるとともに、常識と教養を絶えず高めていくことの重要性について理解する。</p> <p>学級経営をはじめ、生徒指導や学習指導において、教育相談の意義や価値をどのように生かせばよいかについて配慮する。</p> <p>社会性や対人能力</p> <p>場に応じた適切な話題をもとに、良好な人間関係や協力関係を作りだす。</p> <p>他の学生に対して意識的に話しかけたり、グループなどでの役割を自分から引き受ける。</p> <p>保護者や地域の人などと適切なコミュニケーションを図る。</p> <p>教育への使命感や責任感、教育的愛情</p> <p>自分の課題を明確にして、教師として必要な力量を高める。・教員としての基礎的知識や心構え・教師が果たすべき役割</p> <p>これまでのさまざまな教育理論や教育実践から学び、自分の実践に生かしていく。・教育の思想と理論に関する基本的な知識</p> <p>教育実践から学んだ事や課題解決の方策などを学生同士で話し合い、自分たちなりに考えを深める。</p> <p>教師として生き生き教育活動を続けていくためには、どんなことが大切なのかを習得する。・積極的な話し合い・共同作業等・リーダーシップの発揮・指導の困難さと喜び</p> <p>教育問題の複雑さを認識し、話し合いなどを通して問題をとらえ、解決の糸口を探るよう努める。</p>
テキスト	そのつど、指示する。
参考文献	適宜、紹介する。
関連する授業科目	<p>教育実習(小学校)</p> <p>教育実習(中学校)</p> <p>障害児教育実習</p> <p>特別支援教育演習</p>
オフィス・アワー	金 2
備考（履修上の注意等）	<p>令和元年度の担当は齊藤となります。</p> <p>課題については指定の期日までに齊藤まで提出すること</p>
教育実習やインターンシップ等	
実務経験	